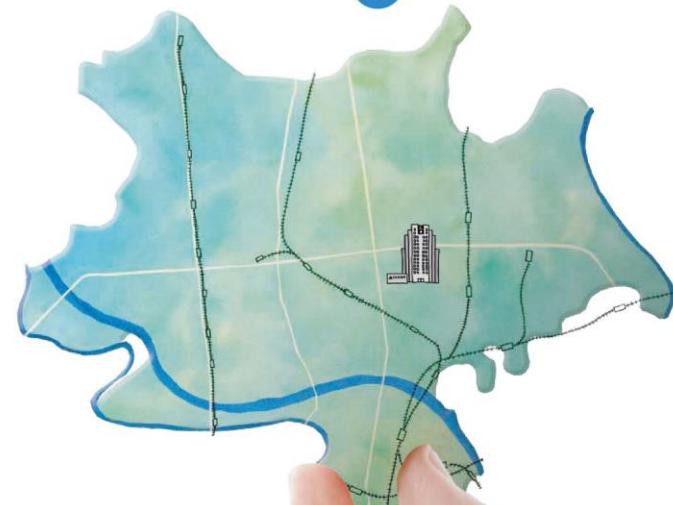


やりたい
ことが
叶うまち。
まずは
「安心」「活力」の
土台づくり



▲足立区
令和8年度
予算編成のあらまし

国の重点支援地方交付金を活用 (令和7年12月26日議決済)

「全区民」対象 (令和8年1月1日時点で、区内に住民登録がある方)
1人あたり現金 1万円を給付

あだち食料品等物価高支援給付金（1万円）の進捗状況

現金支給を選択した理由

1 現金を希望する区民の声が多数

2 早期に給付を開始できる

3 おこめ券などの商品券配布と比較し、
約9千万円程度のコストを抑えられる（足立区試算）

物価高騰の影響は全区民に及ぶため、所得制限はなしで
「全区民」を対象に1人あたり1万円を給付へ

特定財源
約30億円



自主財源
約45億円

【事務費：544,079千円】
全体の約7%

※ 金額は表示単位未満を端数調整しています

できるだけ速やかに区民の皆様にお届けできるよう
初めてコンビニ銀行のATM受取サービスを導入！

入金第1弾

プッシュ型支援！2月24日(火)入金予定

2月9日(月)以降、対象世帯の世帯主宛「振込みの事前案内」をお届け

対象	対象者数	支給方法	申請方法	支給時期
令和6年度住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯への3万円給付金を区から世帯主の口座に支給した世帯	約2割 約82,000世帯 (約116,000人)	口座振込 世帯主名義の口座に世帯全員分を一括で振込	申込不要	2月24日(火)& 26日(木) 区がR7に実施した「あだち物価高騰支援臨時給付金」の支給口座へ自動振込

入金第2弾

3月中旬以降、セブン銀行ATMで受取！

3月上旬以降、順次申請書をお届け + 申請期限は6月30日(火)まで

対象	対象者数	支給方法	申請方法	支給時期
上記以外の世帯	約8割 約304,300世帯 (約587,700人)	セブン銀行ATMで受取 世帯全員分を一括で受取	申込必要 オンラインor申請書提出	セブン銀行から番号通知【確認番号】が届き次第受取可能 (口座情報不要)

口座振込も選択可能

- 専用コールセンターもしくは申請相談支援窓口へ申し出
- 申し出後、区から送付する口座振込申請書を提出

口座振込の場合
支給は申請から
3~4週間程度

入金第2弾！選べる3つの申請方法

まずは

普通郵便で
申請書が届きます
絶対に捨てないで！

【申請書のイメージ図】

お客様番号

● ● ● ● ● ● ●

SAMPLE



セブン銀行ATM
で受け取る際に
必ず使用する
10桁の番号

あだち食料品等物価高支援給付金
(1人1万円)

申請書が届いたら
1～3のいずれかで申請

1 オンライン申請(セブン銀行ATM受取)

推奨

- ① 二次元コードをスマートフォンで読み取る
- ② 確認フォーム画面で4つの情報を入力
**お客様番号(10桁)／世帯主の生年月日
メールアドレス／電話番号**
- ③ ワンタイムパスワード6桁を入力(1回目)

1回目の認証

- ① 本人確認書類の画像データをアップロード
・マイナンバーカード(表面)
・運転免許証 etc.
- ② ワンタイムパスワード6桁を入力(2回目)

2回目の認証

2 郵送申請(セブン銀行ATM受取)

- ① 申請書の同意事項を確認し署名
- ② 本人確認書類のコピーを貼付
・マイナンバーカード(表面)
・運転免許証 etc.

同封の封筒で返信

3 口座振込(申請から3～4週間程度)

上記1・2の申請
ができない方

区から口座振込申請書を郵送

あだち食料品等物価高支援給付金ダイヤルへお問い合わせください
電話:0120-636-039(平日、午前9時から午後8時まで)

申請書到着以降、区役所1階の相談支援窓口で口座振込申請書の提出を支援
窓口では、本人確認書類や受取口座を確認できる書類のコピーもできます

オンライン申請または郵送申請によるセブン銀行ATMでの受取方法

全国のセブン銀行で好きな時間に受け取れる

受取番号通知が届いたら
手 続 完 了

区では
受取期限を
30日に
設定

- ① 審査後、区がセブン銀行へ送金登録
- ② 送金登録完了後、

オンライン申請の
場合は送金登録
後、即時「メール」

郵送申請の場合は
通常6営業日で
「圧着はがき」

審査期間(最短3営業日)

- ATMでの受取に必要な3つの情報が届く
1. 提携先コード: 区の契約番号4桁
 2. お客様番号 : * * (番号の表示なし) * *
 3. 確認番号: ワンタイムパスワード4桁

最寄りのセブン銀行ATMへ



足立区内では**180**か所で受取可能

お出掛け前に3つの情報を確認！

提携先コード(4桁)

お客様番号(10桁)

確認番号(4桁)

4月より区内全域でスタート

「プラスチック分別回収」

プラスチック分別回収にご協力をお願いします！

R6 モデル地区で先行実施

	令和6年度	令和7年度 (見込み)
回収量	1149.54t	1129.38t
資源化量	1038.43t	1013.05t
CO2削減量	1526.49t	1489.18t



【モデル実施から見た、区民の不安や悩みの主な声】

- 燃やすごみの収集回数が減ると、夏場などは生ごみの匂いが不安
- プラスチック容器はどのくらい洗えばよいか

R7 不安や悩みの解消に 向け、事業周知を強化

- PRポスターや横断幕の掲出
- PR動画やあだち広報特集号の作成 など

2年のモデル実施を経て、R8.4月から区内全域で展開

<モデル実施の削減量から令和8年度のCO2削減目標を設定>



R8事業経費

1,164,374千円

内訳

① プラスチック収集運搬委託	513,076千円
② プラスチック資源化委託費(リサイクル費用)	637,174千円
③ 事業開始後の再周知	13,376千円
④ プラスチック回収用コンテナネット作製	748千円

「収集回数」と「収集曜日」が変わります

令和8年3月まで

週3回

燃やすごみ

プラスチック

燃やさないごみ

資源

令和8年4月から

週2回

※ 燃やすごみ3回のうち、1回が
プラスチック回収に変更

週1回

月2回

月2回

週1回

週1回

「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「資源」の収集曜日を変更

「収集回数」と各ご家庭の地域の「収集曜日」を
ご確認いただき、事前準備をお願いします！

条例案を令和8年第1回足立区議会定例会へ提出予定

**足立区認知症とともに
いつまでもこのまちで条例**

共生する活力ある社会の実現を推進

目指す姿

認知症になっても「やりたいこと」を諦めず安心して住み続けられるまち

背景

背景

- (略称)認知症基本法が施行(R6.1.1)
- 法に基づいて、共生社会の実現を目指す
- 自治体では推進計画の策定が努力義務化

区の現状

- 高齢化率23.92% (R8.1.1現在)
- 足立区の高齢者の約8人に1人(※)が認知症と推計(R7)
※ 国の認知症有病率(12.9%)とし、区の高齢者人口に乗じて算出
- 認知症の人の早期発見や早期支援を目的として、介護予防チェックリストや認知症検診事業等を実施してきた

認知症の人やご家族等の声

ご本人の声

- 「やりたいことがある」ことを理解してほしい
- 家族にも認知症のことをもう少し理解してほしい
- 簡単なものでよいので、やれる仕事をやってみたい

ご家族等の声

- 早期から本人の異変に気付けるとよい
- 家族が「あれ？おかしいな」と感じたらホウカツなどに早めに相談してほしい
- 施設に入所しても相談できる人が欲しい

第3条 基本理念

- 意思の尊重 ■ 理解促進
- 障壁の除去(バリアフリー)
- 医療・福祉サービスの提供

第4条 区の責務

- 認知症に関する総合的・計画的な施策の実施

第5条 区民の役割

- 誰もがなり得るという認識、関心と理解

第6条 事業者の役割

- 良質な保健医療・福祉サービスの提供

令和8年度

新たに「(仮称)認知症施策推進計画」を策定し、具体的な取組を推進

声を条例に反映

「安心」と「活力」の2つの視点から
足立区基本計画の理念を具現化

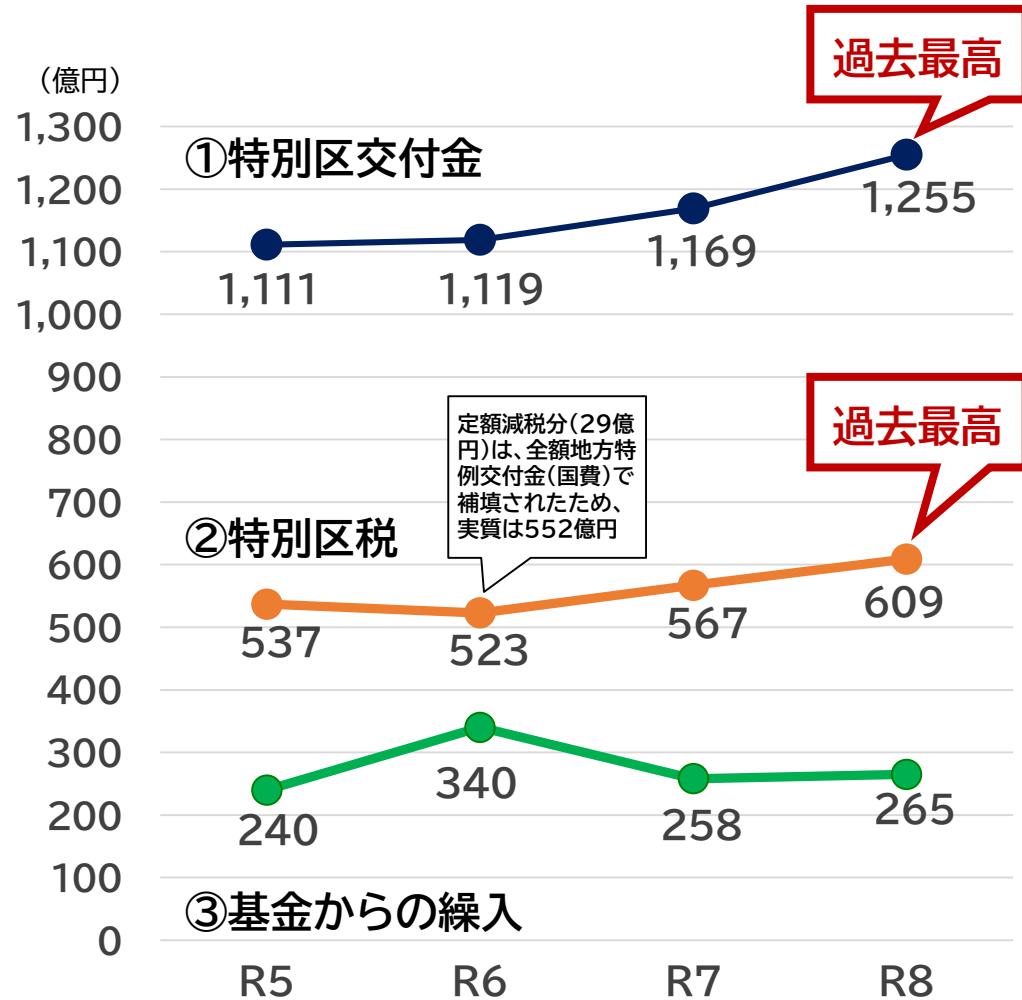
やりたいことが叶うまち。
まずは「安心」「活力」の土台づくり

令和8年度 一般会計当初予算の概要

①歳入／②歳出

令和8年度一般会計当初予算の概要 ①歳入

当初予算額 年度別の推移



※ 金額は表示単位未満を端数調整しています

予算規模 **3,696億円** +223億円(+6.4%)

① 特別区交付金 1,255億円 前年度比 +86億円
(構成比 34.0%)

- 原資となる都税収入の好調な推移を想定
- 令和7年度から都区間の配分割合が変更（区の配分55.1%→56%）

② 特別区税 609億円 前年度比 +42億円
(構成比 16.5%)

- 東京都最低賃金引上げや失業率の低位安定等による雇用環境の改善
- 納税義務者数の増加（令和7年度当初比12,702人増）を想定

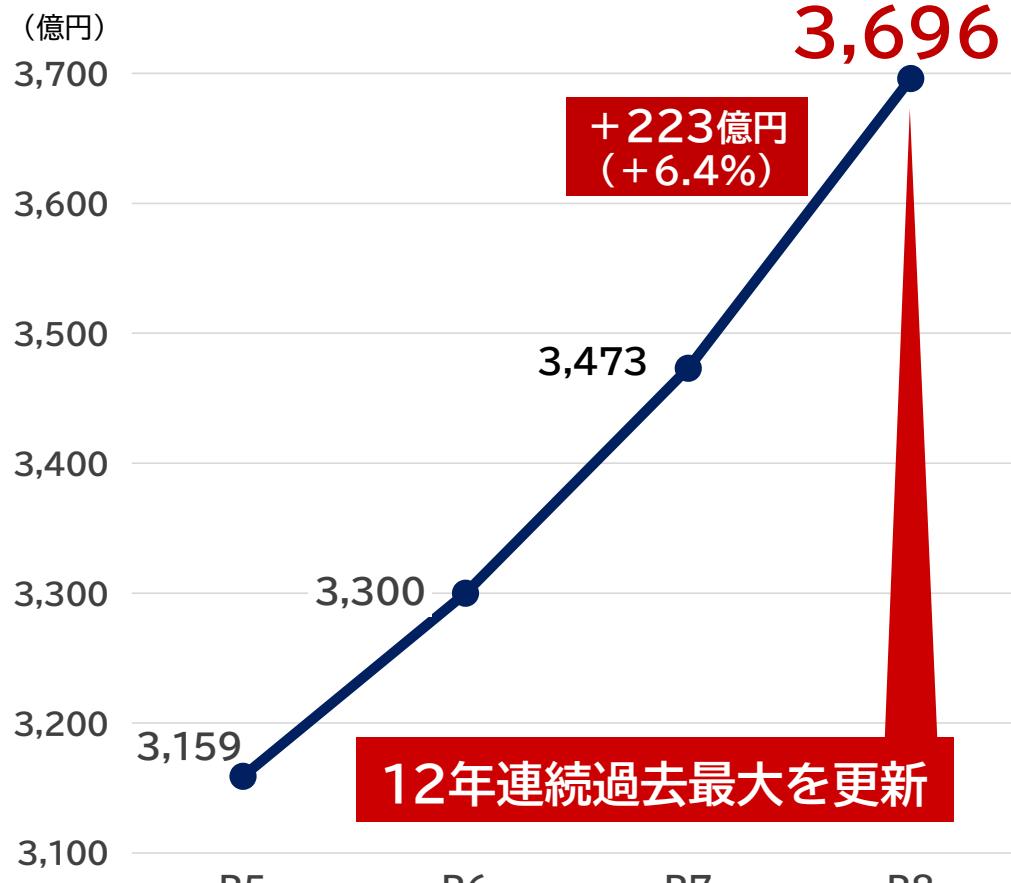
③ 基金からの繰入 265億円 前年度比 +7億円
(構成比 7.2%)

- 財政調整基金 63億円（前年度比△39億円）
- 公共施設建設資金積立基金 63億円（前年度比+14億円）
(花畠地域学習センターや千住庁舎の大規模改修工事などに)
- 義務教育施設建設資金積立基金 50億円（前年度比 △7億円）
(東渕江小学校の改築工事、小・中学校の全体保全工事などに)
- 教育ICT環境整備資金積立基金 29億円（前年度比+22億円）
(児童・生徒用Chromebookの更改・保守などに)

※ 主な基金を掲載しています

令和8年度一般会計当初予算の概要 ②歳出

当初予算額 年度別の推移



※ 金額は表示単位未満を端数調整しています

予算規模 3,696億円 +223億円(+6.4%)

※ R7当初予算とR8当初予算の比較を記載

区の裁量が及びにくい増額 約206億円

- ① 国や都の決定により実施しなければならないもの 約92億円
 - 生活保護費基準改定の最高裁判決を踏まえた追加給付 +28億円
 - 国の公定価格上昇等による私立保育園等運営費 +16億円
- ② 物価高騰・人件費上昇によるもの 約63億円
 - 給与改定等による区職員給与費、区会計年度任用職員報酬 +42億円
 - 施設の維持管理・運営及び業務委託等に係る経費の上昇 +21億円
- ③ 国が推進する施策によるもの 約51億円
 - 学校ICT推進事業(児童・生徒用Chromebookの更新等) +39億円
 - 資源化物行政回収事業(プラスチック分別回収の区内全域実施等) +12億円

前項以外の主な増額 約17億円

- 花畑地域学習センター大規模改修工事等の施設整備 +43億円
- 特別区債元金の償還(繰上償還(前倒し償還)の実施等) +11億円
- 小・中学校児童・生徒保護者負担軽減事業(新入学児童・生徒の保護者へ支給する入学準備金) +10億円

※ R7から実施。第2号補正で予算計上したため、当初予算比では+10億円となります

ここからは、

令和8年度の主な施策・事業

についてご説明いたします。

1 安心の土台づくり

1 災害に強いまちづくり

災害時のトイレ確保・管理計画／建築物耐震化の促進

消火器・住宅用火災警報器／マンション防災備蓄品

2 地域の安心安全の確保

持続可能な公共交通／自転車交通安全／ごみ屋敷対策

3 区民の健康を守る支援

出産後支援

これまでの経緯

R6

能登半島地震でトイレの重要性を再認識

報道や職員の現地視察等により、改めて災害時のトイレについての問題が浮き彫りとなる



▲ 災害時、水洗機能を失ったトイレ(写真:日本トイレ研究所)

R7
4～

災害時のトイレ確保・管理計画策定の着手

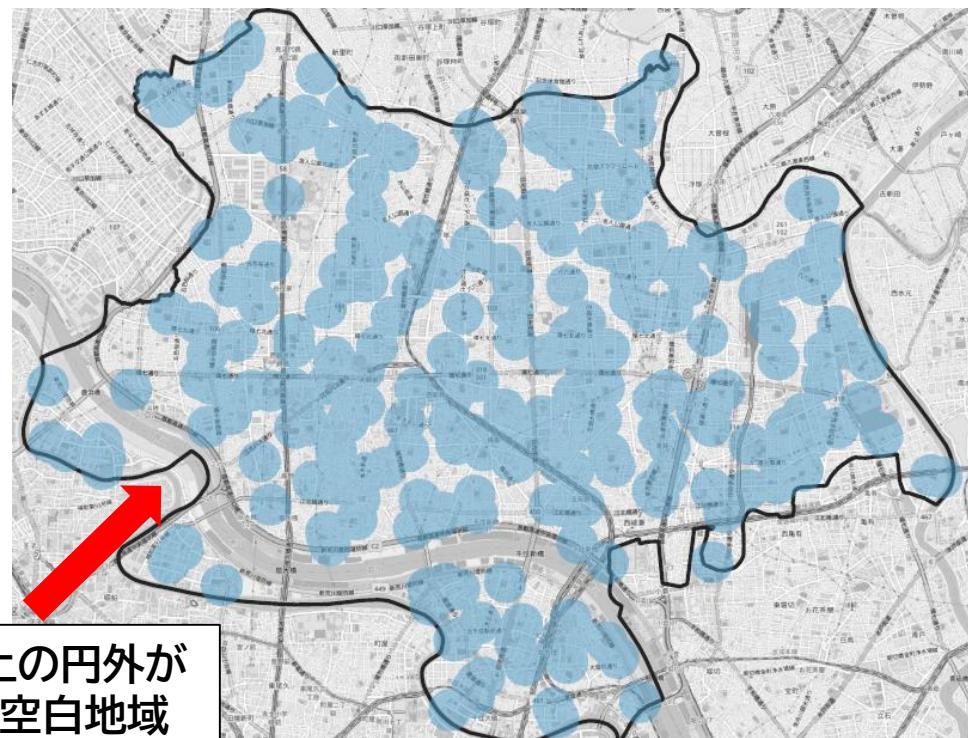
東京トイレ防災マスターplanを参考に区の災害時のトイレ確保・管理計画策定に着手
令和7年度末の策定を目指す

計画策定中
見えてきた
主な課題

災害時のトイレ空白地域

災害時に使用できるトイレがある施設①～③を中心^に半径250m円(徒歩5分圏内)をプロット

- ① 第一次避難所(小・中学校、大学等)
- ② 福祉避難所(地域学習センター等)
- ③ 区立公園等(マンホールトイレ)



地図上の円外が
トイレ空白地域

災害

1－1 災害時のトイレ確保・管理計画の策定

今後の
取組み

空白地域解消に向けた対策

トイレ空白地域の具体的な解消方針を決定し、
令和12年度末までの空白地域解消を目指す

1 災害用トイレ設置場所の抽出・現地確認

空白地域内にある約200か所の区施設(区立公園等)を対象に、災害用トイレの配備シミュレーションを実施し**115か所**を抽出・現地確認を行った

■災害用トイレ

- ① 携帯トイレ
- ② 自己処理型トイレ
- ③ 仮設トイレ
- ④ マンホールトイレ

1/20
完了

2 災害用トイレの設置可否の検討

現地確認の結果から、災害用トイレの**設置可否の検討**を行う

現在
検討中

115か所の施設に災害用トイレの配備方針を決定

その他の
課題

計画に新たに追加する項目

1 し尿の処理方法マニュアル

「足立区災害廃棄物処理計画」および「足立区災害廃棄物処理マニュアル」と整合のうえ、以下のトイレの処理方法を作成

- ① 仮設トイレ(汲み取り式トイレ)のし尿処理方法
- ② 携帯トイレ(在宅・避難所)の廃棄方法

2 災害用トイレの維持管理マニュアル

各避難所・公園における災害用トイレの維持管理方法(設置・清掃・備品管理)に関するマニュアルを作成

計画の実行性をより高めるため
計画策定期間を延長

変更前:令和8年3月

→ 変更後:令和8年9月(予定)

災害

1－2 建築耐震化促進事業 助成額拡充の 1年延長

これまでの取り組み①

住宅の耐震化率の目標値を設定

令和3年度に「足立区耐震改修促進計画」を改定

目標 令和3年11月から令和8年3月の期間で **95%**

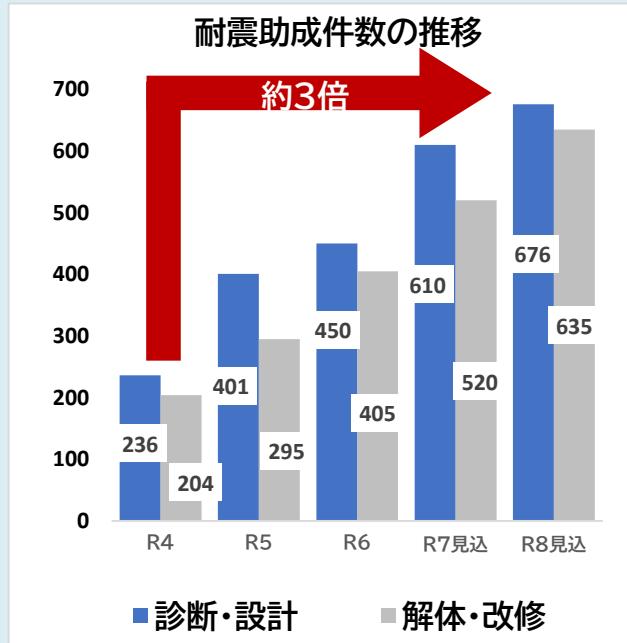
※ 耐震化率は、H30年の統計調査の基準で算出

※ 令和6年度までの実績:93.7%

これまでの取り組み②

3年間 助成額を増額

【令和5年から3年間】耐震化事業の重点期間として設定



- 令和8年度新たな基準で「足立区耐震改修促進計画」を改定
- 区民等から“継続”的要望あり

まずは

令和8年度末まで1年延長

1,622,904千円

	R7予算額	R8予算額	見込み件数
① 耐震診断助成等	158,500千円 (610件)	182,200千円 (+23,700千円)	676件 (+66件)
② 耐震改修助成	308,500千円 (113件)	554,500千円 (+246,000千円)	118件 (+5件)
③解体除却助成	644,000千円 (397件)	822,000千円 (+178,000千円)	517件 (+120件)
④ブロック塀カット助成	36,000千円 (120件)	36,000千円 (前年度と同額)	120件 (増減無し)
⑤促進計画改定・普及啓発等	25,489千円	28,204千円 (+2,715千円)	—

災害

1－3 区民の命と財産を守る支援

継続

消火器・住宅用火災警報器購入補助

- 令和7年6月補正予算で160,000千円計上
(当初はR8.1月に事業終了を予定)

予想以上の反響

270,000千円

- 追加予算措置 令和7年12月補正予算で123,000千円追加計上

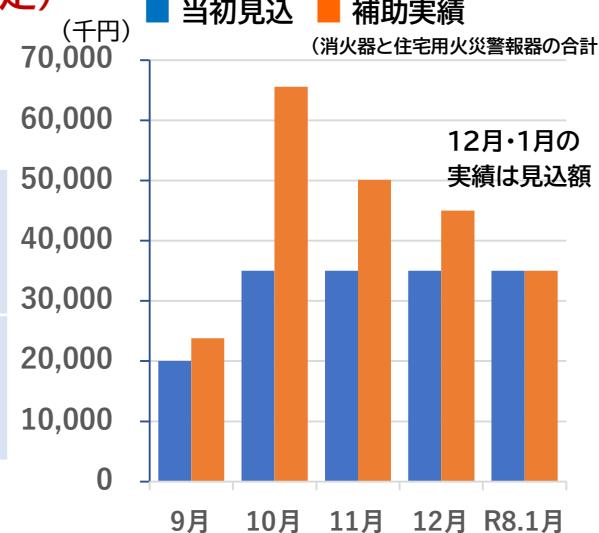
- 期間延長 事業終了期間をR8.3月まで延長

- 令和7年9月19日(事業開始)以降の利用実績

- 令和8年度の目標額

※ 令和8年1月22日時点

	R7補助実績※	R8補助目標
消火器	46,626千円	165,000千円
	5,255世帯	16,500世帯
住宅用火災警報器	116,290千円	105,000千円
	6,257世帯	3,500世帯



■ 補助概要

対象品目	補助額	23区で最大	補助対象
消火器 (エアゾール式簡易消火具含む)	全世帯	上限1万円	足立区に住民登録のある世帯
住宅用火災警報器 (取付工事費含む)	障がい者・65歳以上の高齢者がいる世帯	上限3万円	
	上記以外の世帯	上限2万円	

継続

マンションに対する防災備蓄品の購入費助成

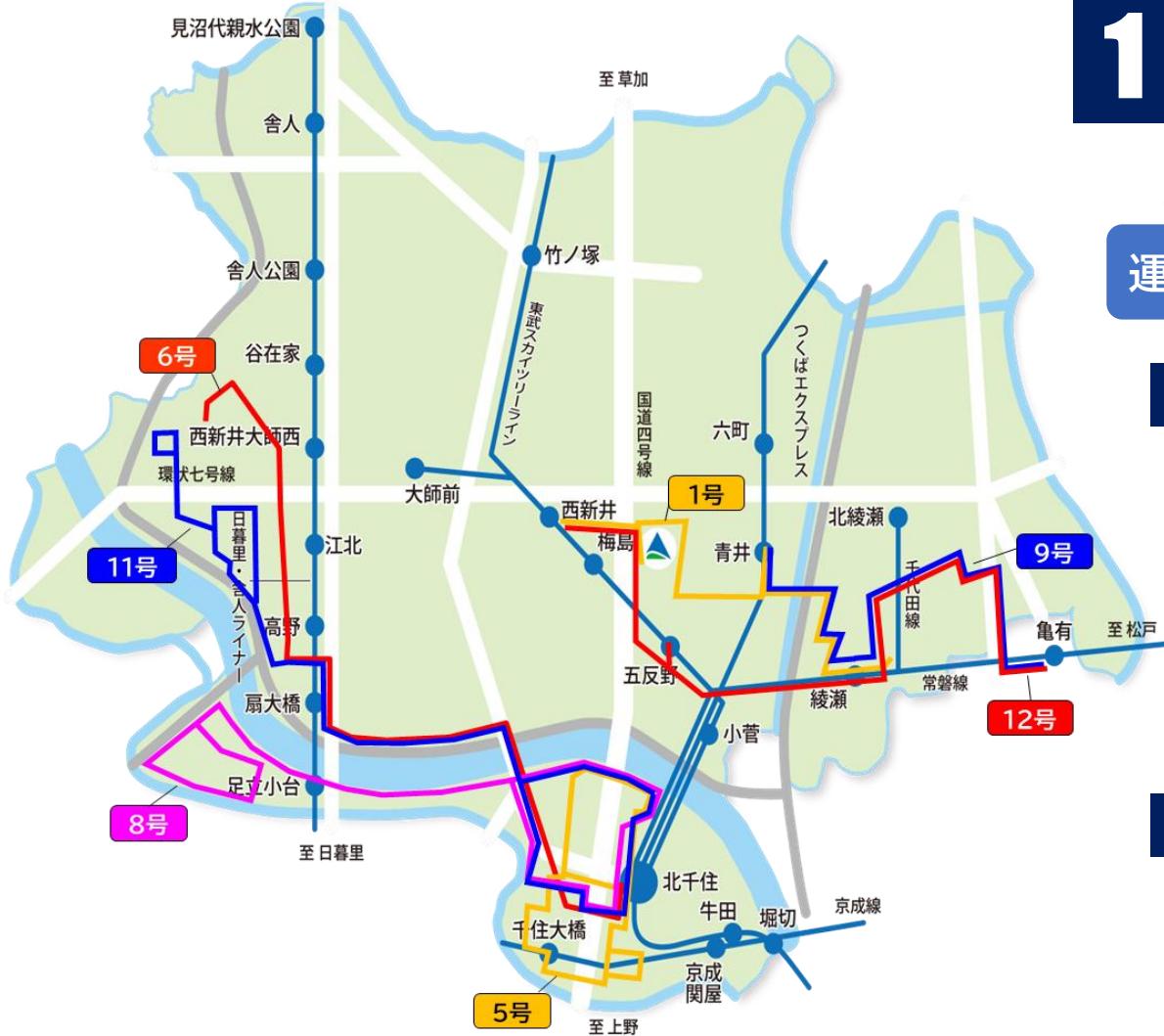
災害時、在宅避難に努めるマンションの支援

16,000千円

対象品目	保存水(賞味期限5年以上)／携帯トイレ
助成割合	備蓄品購入費の <u>3分の2</u> ※ 3分の1は自己負担
助成金額	1棟の上限 <u>800,000円</u> (1戸の上限 <u>8,000円</u>)
支援期間	令和7年度から3年間 令和7年度実績 助成申請件数13件(R7.12月末時点)

交通

2－1 事業者と連携しバス路線を維持



1

はるかぜ協働事業負担金

継続

660,000千円

バス路線維持を阻む大きな課題

運行経費に対し利用者が少ない

令和6年度から

区が運行経費等を負担

(1) 運行経費 530,000千円

2事業者が運行する7路線
(日立自動車、新日本観光)

事業継続維持費

一般管理費

【運行経費】

【運賃収入】

燃料費等
経費

区負担分

(2) 車両買替費用 130,000千円

- ・バス車両費(5台分)
- ・運行管理支援システム(車載カメラ等)
- ・外装費

事業実施1路線の経費の例

交通

2－1 令和8年度冬頃、自動運転バスの実証実験スタート

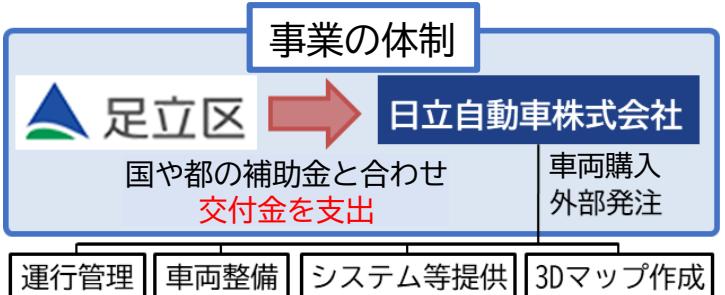


2

日立自動車と連携
自動運転バス導入検討事業

NEW

172,853千円



- 自動運転バス実証実験に関する協定締結予定
- はるかぜ協働事業のバス事業者
- 自動運転実証実験の実績あり

令和8年度実施スケジュール	
夏頃～	補助金申請、運行の認可手続き
秋頃～	運行ルートの3Dマップ作成、ドライバー研修、試験走行
冬頃～	実験開始(乗客あり)

(1)自動運転バス実証実験ルート検討業務負担金(R7-8債務) 8,600千円

- はるかぜの運行ルート(運行終了箇所を含む)を中心に、走行難易度を確認
- 小型バス車両とグリーンスローモビリティ車両の

2種類の車両でそれぞれの実証実験ルートを検討中



(2)自動運転バス実証実験交付金 146,253千円

まずは、小型バス車両による実証実験から開始

(3)自動運転バス停整備費 18,000千円

実証実験ルートのバス停を整備

交通

2－1 既存交通を補完する地域内交通の運行



3 地域内交通導入サポート制度関連事業

継続

58,300千円

地域ニーズに合わせた運行方法を検証

	地区名	愛称名	実験期間
継続	常東地区	チョイソコ×せんじゅ	令和8年7月末まで
	花畠地区	花畠ぐるりん	令和8年9月末まで
新規	扇地区	未定	令和8年度中の 実証実験を目指す
検討中	舍人地区	—	交通手段導入検討

地域内交通導入前や実証実験中もサポート

交通

2－2 R8～10年を「自転車交通安全の重点啓発期間」に

現状

区内の交通事故全体の死傷者数と
自転車関与事故件数の割合(R6)死傷者数
1,900人程度
自転車関与割合
53.4%自転車利用者のヘルメット
着用率(R7.9 足立区調査)

11.4%

目標

令和10年度までに

死傷者数の減少 1,850人へ

着用率 20%へ

背景

自転車の交通違反に青切符適用開始(R8.4～)

携帯電話の使用



反則金1万2千円

イヤホンの使用



反則金5千円

傘さし運転



反則金5千円

主な違反行為
(画像は内閣府HPより引用)

強化1

NEW

自転車安全利用指導員業務委託

11,700千円

自転車利用者・歩行者へ交通安全の指導啓発

千住・綾瀬・竹の塚・西新井・五反野・梅島

1日1か所
ごとに活動

重点啓発地域

活動時間

活動内容

「自転車安全教育指導員」資格を有するなど交通関連法令の知識に精通した方

指導員3名 × 1日8時間以上 × 年間150日程度
(週3日程度)

交差点や人通りの多い生活道路で街頭指導を実施

強化2

拡充

自転車ヘルメット補助の期間延長

30,000千円

補助額

1個購入につき2千円補助
R5.3～R7.12の実績
3万件

原料高騰により価格上昇

3千円に引き上げ
再購入可能

補助期間

令和7年度末まで

令和10年度末まで
3年延長令和7年度発足
「自転車ルール啓発チーム」

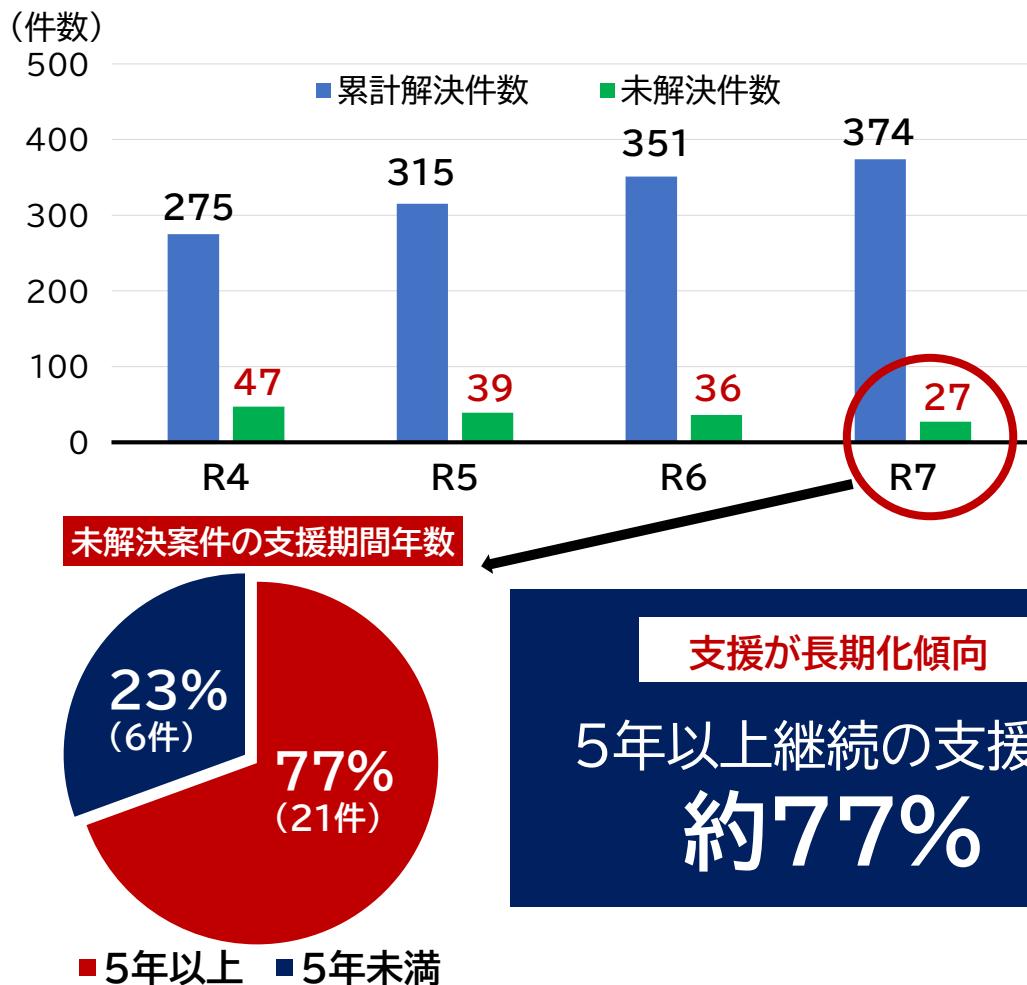
自転車ルールの教室や区職員による街頭での啓発活動を実施

ごみ

2-3 “足立区流”ごみ屋敷対策をさらに一歩、前へ

全国初となる「ごみ屋敷」に関する条例を制定(H25.1)

ごみ屋敷対策 直近4年の実績（令和7年12月末現在）



課題1

支援の長期化

ごみ処分を決断するまで
多くの時間をする

課題2

近隣住民の
生活環境悪化(阻害)の長期化

不良状態を
受忍し続けなければならない

課題3

現状の上限金額では
ごみの処分に限界がある

残置ごみによる
ごみ屋敷再発の恐れ

処分に一歩
踏み切るため
の支援

R8の新たな改善策

ごみ屋敷
再発の防止

寄り添い中心の支援は「継続」しつつ、
「長期化を減らし」地域全体の生活環境改善へ

ごみ

2－3 全国初となる“一時移動支援”を開始

1 全国初 自己保有物の一時移動支援

NEW 1,500千円 (500千円×3件)

長期化の要因①

要支援者の処分に対する
心理的ハードル
(不安・拒絶 etc)

処分に一步
踏み出す
後押しが必要

実体験型支援
「まずはやってみる」
後押し支援

自己保有物の
一時移動支援
上限50万円

委託事業者が指定する
指定場所(区内)へ移動

体験を通じて
処分の決断を
後押し/促進
ごみ処分へ
再発防止
医療・福祉ケア
に繋ぐ

ごみ処分を決断するまでの平均支援期間

約1年から2年

2 ごみ処分支援の上限金額を拡充

拡充 1,000千円(+500千円、実施目標1件)

長期化の要因②

一度に処分しきれない
支援上限額の壁

支援上限
50万円
(H25~)

【過去の実績】
7件のうち5件が上限超え

効果

1 再発リスクの軽減

2 ごみ処分の支援期間を短縮

ごみの一斉処分が可能に

支援上限
100万円
(R8~)

処分にかかる物価上昇や
人件費の高騰にも対応

健康

3 出産後の支援

支援①

New 【無料※1】産婦健康診査

- 1回につき**5千円**を公費負担(令和8年10月1日開始) 都内共通

- 4月～9月に出産した方も助成対象 区独自

※1 医療機関によって健診費用が5千円を超える場合あり
超えた費用は自己負担

産後2週間、産後1か月の産婦に対する健康診査に公費負担を開始します(計2回)。

令和8年10月からの都内共通受診方式の導入にあわせ、区独自に対象を拡大!

支援②

New 【無料※2】1か月児健康診査

- 1回につき**6千円**を公費負担(令和8年10月1日開始) 都内共通

- 4月～9月に生まれた子も助成対象 区独自

※2 医療機関によって健診費用が6千円を超える場合あり
超えた費用は自己負担

生後1か月の子に対する健康診査に公費負担を開始します。

令和8年10月からの都内共通受診方式の導入にあわせ、区独自に対象を拡大!

国補助
1/2

都補助
1/4

区
1/4

【積算根拠】
対象者数 4,100人×2回

41,601千円

支援③

拡充

産後ケア事業

国補助
1/2

都補助
1/2

医療機関等型産後ケア<宿泊型・日帰り型・訪問型>

- 自己負担金を**半額**に引き下げ

実施形態	Before	After
宿泊型 (R6実績:2,170日) 7施設	5,000円/日 (R7見込:2,758日) 9施設	→ 2,500円/日 (R8見込:4,620日) 9施設
日帰り型 (R6実績:74回) 1施設	2,500円/回 (R7見込:120回) 2施設	→ 1,250円/回 (R8見込:240回) 3施設
訪問型 ※ R7新規事業	2,000円/回 (R7見込:540回) 助産師5名	→ 1,000円/回 (R8見込:540回) 助産師6名

デイサービス型産後ケア

- 産後5か月から1年末満の方を対象とした

産後ケアが1施設 ⇒ **2施設**に増

マタニティ&ベビーハウスOhana(梅島)に加え、「すこやかプラザ あだち」を追加します。

197,448千円
(+73,398千円)

※ 両施設とも産後5か月未満の方も利用可能

2 活力の土台づくり

1 地域経済の活性化

事業者支援の強化／人材採用・育成・定着支援

2 町会・自治会等の活動を支援

町会・自治会の運営の維持・活動の継続

3 子育てと子ども＆若者の夢の実現を全力応援

未就学児から大学生まで

4 エリアデザイン

高野スポーツパーク開設

経済

1－1 事業者支援の強化

拡充

小規模事業者等の経営改善

539,000千円

- 中小企業相談員の支援により作成した経営改善計画の実行に対する経費を助成

補助の対象

- ① 機械設備等購入費
- ② 店舗改修費
- ③ 操業環境改善費

拡充ポイント

- ④ 区内移転先(同一業種)での設備購入・店舗改修費を追加

補助率・上限額は令和8年度も継続

見積額(計画書内)の内、区内事業者に支払う金額	補助率	上限額
補助対象経費の1/2以上	2/3	250万円
補助対象経費の1/2未満	1/2	150万円

拡充

省エネルギー対策工場設備更新

30,000千円

- 消費電力が大きい製造業(認可工場)における省エネ設備への更新を促進

※ 対象の工場…印刷機、金属プレス、冷凍機など、製品の製造に必要な生産設備を持つ認可工場

主な拡充ポイント

項目	拡充前	拡充後
補助対象設備	生産設備	生産設備+ユーティリティ設備(空調・照明等の設備)
補助率	1/2	2/3
補助金額	100万円~500万円	10万円~800万円

拡充

事業承継の促進

20,000千円(+12,000千円)

- 事業承継を契機として行う設備の導入・更新、販路拡大の経費の一部を助成

対象経費	業種	件数	
		R7	R8
①設備投資等経費	製造業等	2件	7件
	その他	2件	4件
②広告等経費	区別なし	4件	4件

拡充

ホームページ作成・更新

19,500千円(+9,500千円)

- 通常枠(HP新規作成・更新)と動画枠(通常枠+自社PR等の動画作成)にかかる委託料を助成

区分	上限額		見込件数
	R7	R8	
①通常枠	10万円	20万円	60件
②動画枠	15万円	25万円	30件

経済

1－2 人材採用・育成・定着支援

拡充

採用 人材採用支援助成金

160,051千円

- 人材採用にかかる企業の費用負担を軽減し、人材採用活動を支援

区分	補助率	上限額	見込件数
①求人広告掲載費	1/2	40万円	382件
②人材紹介会社への成功報酬費		60万円	60件

拡充ポイント

申請回数の上限を補助上限額の範囲で年度1回から2回に変更（上限額は変わらず）

継続

育成 人材育成・資格取得研修費補助金 14,110千円

- 社員の育成や資格・免許の取得、リスキリングにかかる費用の負担を軽減

対象事業の例

- ①大型・中型自動車運転免許
- ②建築・土木施工管理技士
- ③アスベスト関連資格
- ④フォークリフト運転技能

対象経費の例

- ①研修受講料
- ②テキスト代・材料費
- ③受験料

申請回数	補助率	上限額	見込件数
1回	1/2	25万円	15件
2回		1回あたり 12.5万円	60件
5回		1回あたり 5万円	110件

※ 最大25万円まで補助

NEW

定着 人材定着サポート助成金

159,000千円

- 人材定着のため職場環境の整備や熱中症対策等に取り組む企業を支援

対象事業	主な対象経費	主な取り組み例	補助率	上限額	見込件数
①職場環境整備	設備新設・改修	■ 従業員用トイレ・休憩室等の整備 ■ 手すり・段差解消等のバリアフリー工事	1/2	100万円	90件
②熱中症対策	設備新設・改修	スポットクーラーの設置		40万円	160件
	対策物品購入	ファン付きベストの購入		10万円	50件

※ 最大150万円まで助成



専門家によるフォロー

事業効果の向上と助成金の適正執行を確保するため、事前相談と取り組み後のタイミングで計2回の専門家によるフォローを受けることが必須

地域

2 地域コミュニティの活力を取り戻す

地域のみなさまの声を受け、町会・自治会の運営維持や活動継続の支援を充実

NEW

舞台設置等行事に係る事業助成

88,000千円

- 盆踊りや夏祭りに必要な舞台設備等の設置委託料や賃借料を助成

①やぐら(舞台)

- ②テント
- ③放送設備
- ④電気工事

補助率	上 限 額		見込件数
10割	単一町会・自治会での実施	40万円	210件
	合同での実施	50~80万円	

拡充

子ども向け地域活性化事業助成

65,000千円(+44,000千円)

- 子ども向けに実施する子ども祭りや餅つき大会などにかかる費用の助成回数を増

	R7年度	R8年度
助成回数	年1回	年2回
件 数	89件(実績)	105件(見込み)

※ 1回の上限額は30万円

拡充

活性化用物品購入助成

21,500千円(+8,000千円)

※ テント以外の助成物品も含む

- 交通安全運動などで使用するテント購入費用等の助成額を増
(3年間限定:R8~R10年度)

	R7年度	R8年度
補助率	6割	10割
上限額	10万円	15万円
件 数	15件(実績)	100件(見込み)

若者

3－1 子育てと子ども＆若者の夢の実現を全力応援 ①

未就学児

1 私立幼稚園等の利用料補助の増額

拡充

323,929千円(+144,138千円)

私立幼稚園、私立認定こども園を利用する園児保護者の経済的負担軽減を図るため、利用料を補助

対象者 5,276人

注目
POINT

利用料補助(月額) 33,000円 ▶ 35,000円

2 未就学児に夏の遊び場を提供

拡充

8,240千円

猛暑により、外で遊べる場が不足している
未就学児向けに、室内で遊べる場を提供
(ボールプールなどの遊具を設置)

- 庁舎ホール
- 足立区勤労福祉会館
- すこやかプラザあだち(予定)

注目
POINT

1か所(2回)開催 ▶ 3か所(6回)開催

小学生・中学生・高校生

3 小・中学校入学準備金を支給

継続

1,047,530千円

令和9年4月に新1年生となる児童・生徒を対象に、入学準備にかかる保護者負担を軽減するため、一人当たり10万円を支給（令和8年度内支給予定・住所要件などあり）

注目
POINT

新小学1年生 約4,600人 新中学1年生 約5,400人

4 中高生向け学習スペースをより安全に

拡充

1,429千円(+1,429千円)

令和8年度も引き続き
夏休み期間中、中高生の学習スペースを無料で提供
(生涯学習センターと地域学習センターの空き室を活用)

注目
POINT安心して利用できる環境を整えるために
見守りカメラを新たに設置 全14施設分

若者

3-2 子育てと子ども&若者の夢の実現を全力応援 ②

高校生世代・大学生

5 高校生世代の居場所型学習支援

拡充

23,739千円(+8,641千円)

高校中途退学者の高等学校卒業程度認定試験対策や、授業についていけない高校生の補習等を行う学習支援

注目
POINT

2拠点

梅島・綾瀬

▶ 3拠点

谷在家・梅島・綾瀬

NEW

6 大学生等の修学・就職を支援

拡充

29,179千円

生活困窮世帯(生活保護受給世帯、住民税非課税相当世帯)の子どもの大学等への修学から就職活動に係る経済的負担を軽減するために支援金を給付

注目
POINT

申請要件・所得要件を緩和し、対象者を拡充

260人 ▶ 400人

架空部署「あだち未来創造課」のモギ職員として、社会人を先取り体験

番外編

「モギ社会人1年目」企画からセブン-イレブンの商品が誕生



企画に参加した高校生・大学生が、株式会社セブン-イレブン・ジャパンと一緒に、若者の健康意識を高める取り組みを考えました。



みなさんのアイデアをなんとか形にしたいという思いから、商品化が実現しました。



竹井浩樹
(株)セブン-イレブン・ジャパン
オペレーション本部長

そのアイデアの一つが
セブン-イレブンで商品化

魔女スープ

1/27から
区内
販売中

SNSを参考に、若者たちが「買ってみたい!」と思えるよう、健康だけでなく、おしゃれさやインパクトにもこだわってレシピや名前を考えました。

参加した高校生
矢崎さん



トマトベースの
具材たっぷりスープで
健康とおいしさを両立

複数の野菜を使用

- トマト
- キャベツ
- 紫キャベツ
- 人参
- 玉ねぎ
- セロリ

エリア

4 江北エリアデザインの推進

高野スポーツパーク 【R8関連予算】78,824千円 管理委託費等

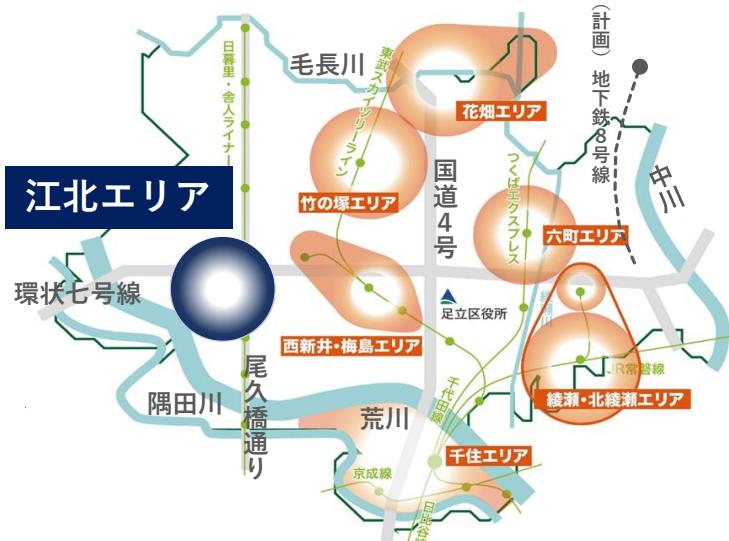


イメージ図（南東側から高野スポーツパークを望む）

令和8年4月26日開設

※ 同日にオープニングセレモニー実施予定

区内初！全面人工芝の多目的広場



上沼田東公園東側創出用地活用

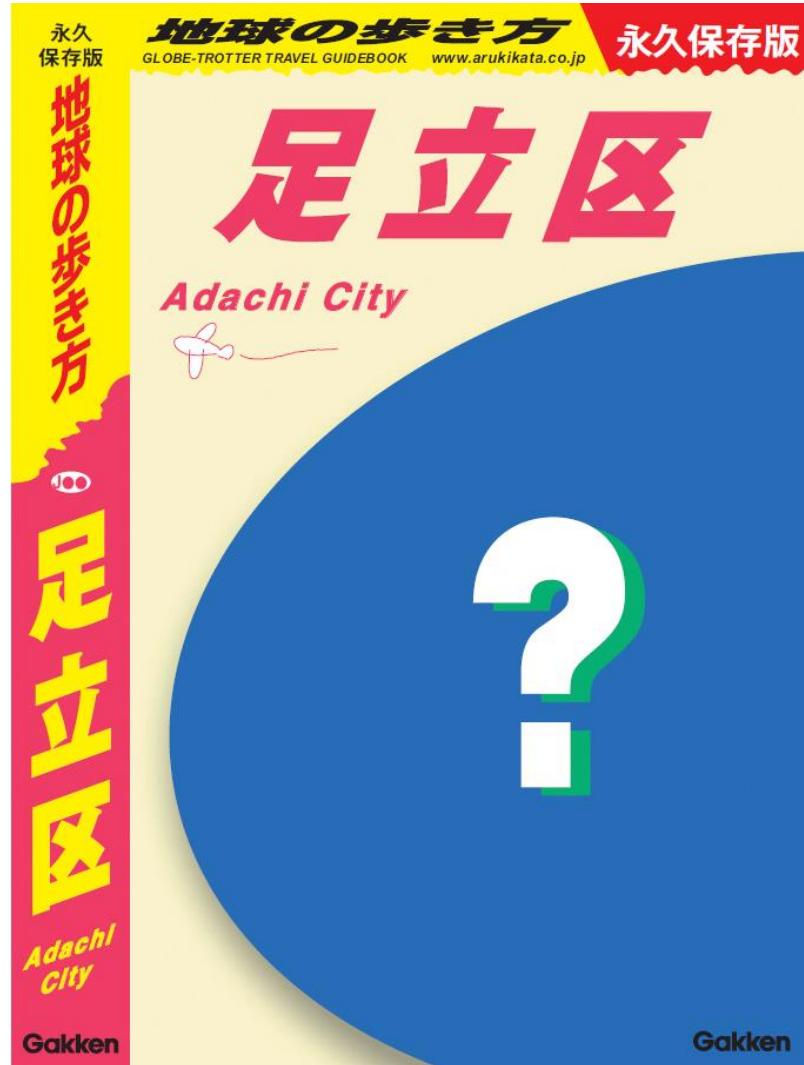
令和7年12月 大和リース(株)に
事業者決定
令和9年12月 施設開設



イメージ図（北東側から創出用地を望む）

最後に…

地球の歩き方 足立区版 発行決定！



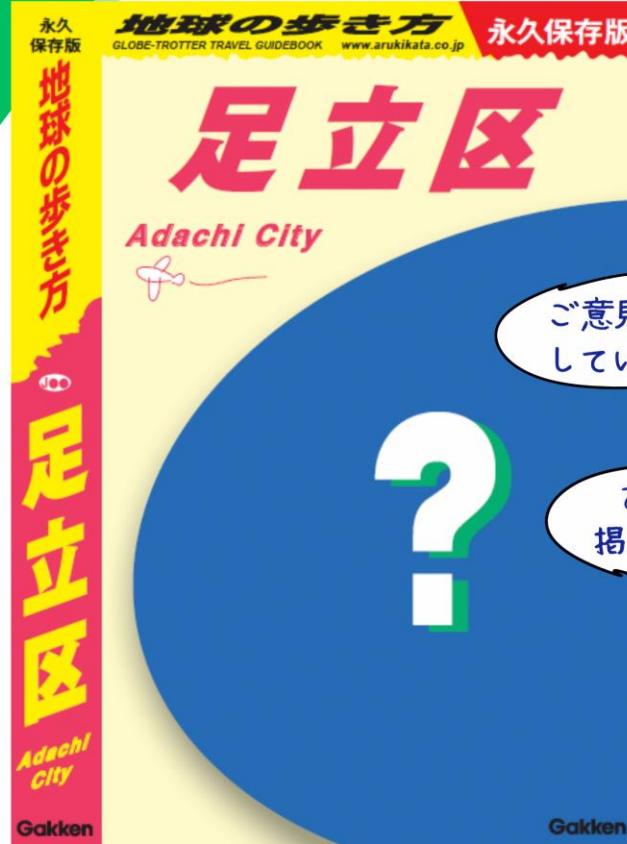
- 1979年の創刊以来、海外旅行ガイドを展開
2020年から国内版も制作しており、その圧倒的な
情報量から、地元の方を中心には好評を博している
- 東京23区では、世田谷・杉並・墨田に次ぐ4番目

2026年9月 発売予定！

ゆらあきよ
地球の歩き方編集長 由良 暁世 様
にご紹介いただきます！

地球の歩き方からのご案内

好きな表紙や推しスポット、“足立区あるある”を大募集！

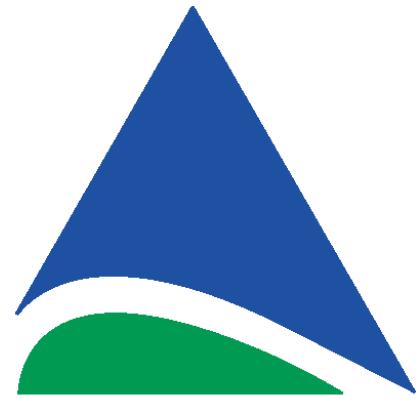


2026年9月発売予定
『地球の歩き方 足立区』
発行決定記念アンケート
&プレゼントキャンペーン



抽選で30名様に
地球の歩き方
オリジナルクオカード
500円分が当たる！

締め切り 2026年3月13日23:59



ADACHI CITY

「令和8年第1回足立区議会定例会」で
可決された場合に予算が執行されます